議事録（概要版）

件名	生物多様性なら戦略 第2回改定委員会	記録者	エヌエス環境株式会社
月日	令和4年10月7日（金）		
時間	12:30～15:00	形式	委員会
場所	奈良県文化会館 多目的室		

出席者	希少野生動植物保護専門員	前田 喜四雄（哺乳類） 元吉 司（鳥類） 井上 龍一（両生・爬虫類） 細谷 和海（魚類） 宮武 頼夫（昆虫） 尾上 聖子（植物） 丸山 健一郎（菌類）
	生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会	木村 史明（御欠席）（橿原市昆虫館副統括）
	奈良県 景観・自然環境課	吉浦 慎治（課長） 福井 靖典（課長補佐） 山原 美奈（係長） 有山 麻衣子（主査）
	エヌエス環境株式会社	鈴木 拓哉（管理技術者） 川瀬 誉博（担当技術者）
傍聴者		なし

議事次第

1. 奈良県挨拶
2. 令和4年度 生物多様性なら戦略 第2回改定委員会 出席者報告
3. 第V章(1)に掲げた目標の達成状況について
4. 次期生物多様性なら戦略に搭載すべき項目について(目次の作成)
5. その他連絡事項等

1. 議論「現生物多様性なら戦略 第V章（1）に掲げた目標（①～⑭）の達成状況について」

項目	概要
戦略全体の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性戦略の専門部署を設置して取り組んでほしい。 ・連携する機関にもっと協力要請が必要ではないか。
①県・市町村の自治体職員などへの研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・外来種の農業被害に係る研修だけでは、生物多様性の理解を深めることにつながらない。
③生物多様性センター機能関連の業務実施の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・標本室開設に際しては、標本を管理する人材が必要である。 ・レッドデータブック改訂に係る標本を保管するのであれば、施設規模を検討する必要がある。 ・ホームページの「生き物情報調査」に寄せられた情報は、情報の信憑性を分析してほしい。
④環境保全型農業・森林の多面的機能を発揮する多様な森林づくりなどに取り組む地域の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県はファーマー自体になりやすいのか、またエコファーマー個人を支援する仕組みがあるか確認してほしい。
⑤生態系サービスの価値を「見える化」（定量的評価）することについての検討	<ul style="list-style-type: none"> ・レッドデータブック改訂事業の中で、各分類群が連携してホットスポット調査をしてはどうか。
⑫学校・地域コミュニティー・公共・民間が一緒となって、できる限り多くの動植物種を探す、生き物調査の実施について検討	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の学校敷地内で実施した生き物調査の事例が参考になる。

2. 議論「次期生物多様性なら戦略に搭載すべき項目について」

項目	概要
委員会での議論の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・現戦略の概要と素案をアップデートし、次期戦略のたたき台として第3回改定委員会に出すこと。項目立て等は議論の中で揉んでいくことにする。
搭載内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・目次は現時点では変更なし。 ・内容をアップデートし、グリーンインフラ、Eco-DRR など、今はやりの概念を取り入れる。 ・数値目標の立て方に問題がある。目標の考え方を再考する必要がある。 ・奈良県の魅力あるものを守り、使っていく雰囲気を出したい。 ・現戦略の短期目標（10年）はスパンが長いので、もう少し短期のマイルストーンがあってもよいのではないか。
議事録の公開	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録（概要版）を公開する予定。

3. その他連絡事項等

項目	概要
次回委員会の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回改定委員会は11月25日（金）13時～15時（会場未定）。